

令和5年度 公民科 「倫理」 シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科 3年A～G組
教科書	倫理（東京書籍）	副教材等	『テオリア最新倫理資料集』（第一学習社）

1 学習の到達目標

人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念に基づいて、青年期における自己形成と人間としての在り方生き方について理解と思索を深めさせるとともに、人格の形成に努める実践的意欲を高め、他者と共に生きる主体としての自己の確立を促し、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

2 学習の計画

学期	月	単 元 名	学習項目	主な学習内容や学習活動	主な評価の材料
前期	4	人間としての自覚	古代ギリシアの思想 神話から哲学へ ソフィストとソクラテス プラトン	○ギリシア思想は、自然哲学、ソクラテス、プラトン、アリストテレスの生涯と思想を中心に理解する。また、その思想がどのように発展したのかを学習する。そして、ギリシア思想の本質的な部分を思索する。	定期考査とGoogleクラスルームで提出したワークシートによる。
	5		前期①考査 アリストテレス ヘレニズム時代の思想		
	6		キリスト教の思想と信仰 ユダヤ教・旧約聖書の思想 イエスの教え 原始キリスト教 キリスト教の展開	○キリスト教・仏教の基本的な考え方だけでなく、歴史的な成立過程や、発展、拡大の経緯についても理解する。そして、キリスト教・仏教の本質的な部分を思索する。	
	7		第1回考査 仏教の思想と信仰 仏教以前の思想 仏陀の教え 仏教の展開		
	8		古代中国の思想 古代中国思想と諸子百家 儒家思想とその発展 朱子学と陽明学 道家（老荘）思想	○儒家、老荘思想を中心に学習し、その後の中国思想の展開についても理解を深める。そして、中国思想の本質的な部分を思索する。	
	9		第2回考査		

学期	月	単 元 名	学習項目	主な学習内容や学習活動	主な評価の材料
後期	10	現代を生きる人間の倫理	近代思想の誕生 ルネサンス 宗教改革 近代自然科学思想 イギリス経験論 大陸合理論 モラリスト	○西洋の人間観と人間尊重の精神について、ルネサンス、宗教改革、合理的精神（ベーコンとデカルト）、社会契約説（ホッブズ、ロック、ルソー）、カントの思想などから理解します。	定期考査とGoogleクラスルームで提出したワークシートによる。
	11				
	12				
	1				
			近代思想の展開 社会契約説 啓蒙思想 カントとドイツ観念論 功利主義	○近代市民社会の持つ矛盾や克服を課題としたヘーゲルの倫理思想、功利主義などについて理解します。	
			第3回考査		

3 評価の観点

関心・意欲・態度	人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念に基づいて、青年期における自己形成について関心を高め、人格の形成と他者と共に生きる主体としての自己の確立に努める実践的意欲をもつとともに、これらに関わる諸課題を探究する態度を身に付け、人間としての在り方生き方について自覚を深めようとする。
思考・判断・表現	他者と共に生きる主体としての自己の確立について広く課題を見だし、人間の存在や価値などについて多面的・多角的に考察し探究するとともに、良識ある公民として広い視野に立って主体的かつ公正に判断して、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。
資料活用の技能	青年期における自己形成や人間としての在り方生き方などに関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を適切に選択して、これらを他者と共に生きる主体としての自己の確立に資するよう活用している。
知識・理解	青年期における自己形成や人間としての在り方生き方などにかかわる基本的な事柄を、他者と共に生きる主体としての自己確立の課題とつなげて理解し、人格形成に活かす知識として身に付けている。

4 評価の方法

考査とgoogle クラスルームでの提出物によって、関心・意欲・態度、思考・判断・表現、資料活用の技能及び知識・理解の4観点から総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ（確かな学力をつけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守ってほしい事項など）

<p>現代の言葉の使い方として「倫理」と「道徳」は、ほぼ同じ意味をあらわしている。しかし、高等学校公民科倫理という科目は、お行儀が良く何も疑うことなく一般的に「善」とされることを行い、さらには、自分が正しいと思う判断を他者にも「正しい」が故にそれを強要するような生徒を育てるための科目ではない、と私は考えている。そうではなくてむしろ、「お行儀の良さ」とは何であるのか？ 何をもって「善」とするのか？ 「正しい」という判断はどのような種類の判断なのか？ ということについて自分の頭で考えて、自分の行動の指針の参考にすることができるよう生徒を育てる科目である、と考えている。</p> <p>生徒の皆さんは、教科書の意見や私の意見やたくさんの思想家や宗教家の意見を噛み砕き、咀嚼しながら、のんびりと焦ることなく自分自身の人間観や世界観そして価値判断のための枠組みを選び取っていただけたら、と思う。そして、たとえ「大いなるもの」だろうが「国家・社会」だろうが、臆することなく論じることができるために、教養という工具箱のツールを増やして健全な批判精神を磨いて欲しい。なお、Google Classroomの活用については別途指示する。</p>
--